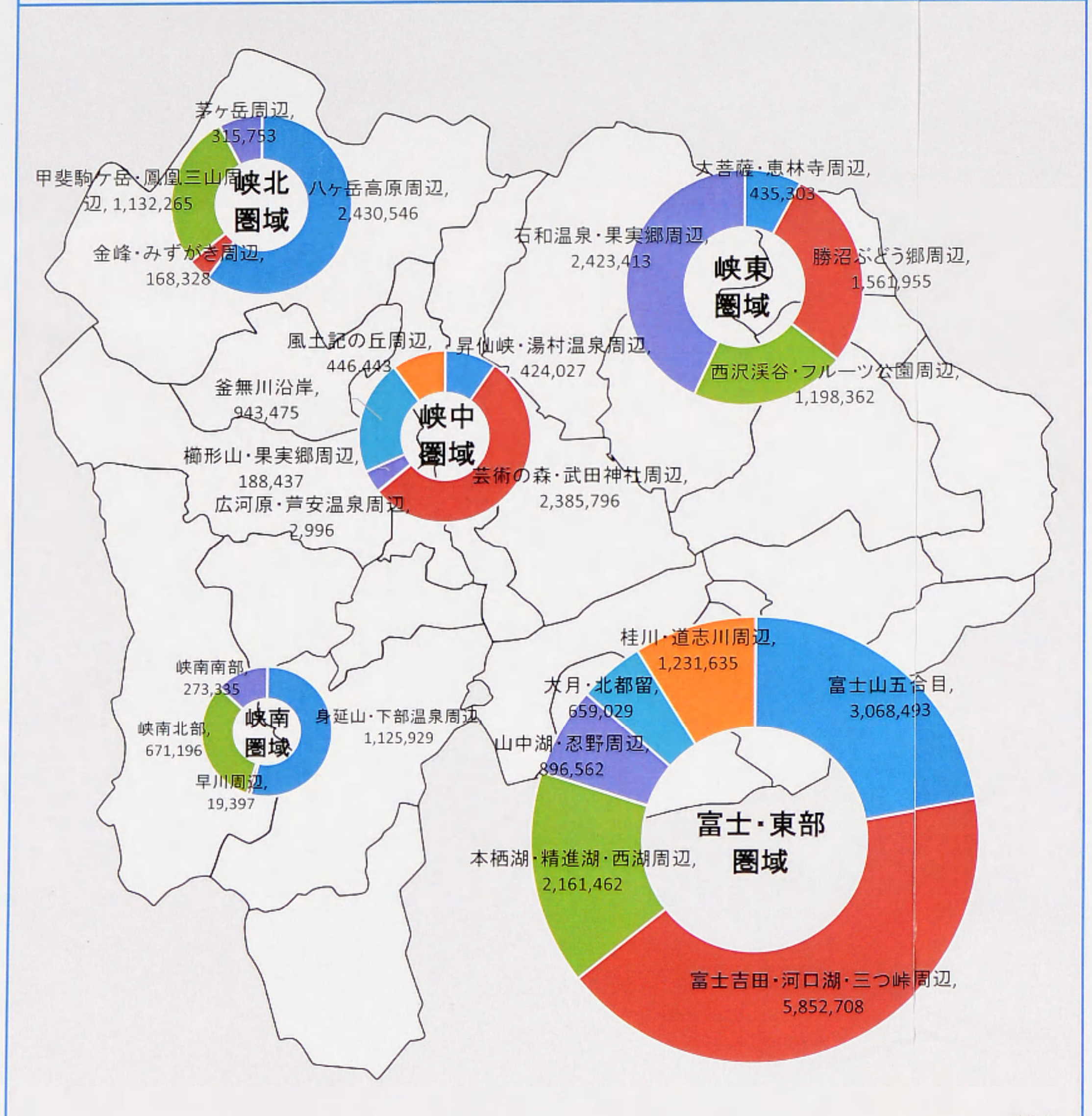
山梨県の観光統計

平成26年　観光客数圏域別一覧表（実人数）



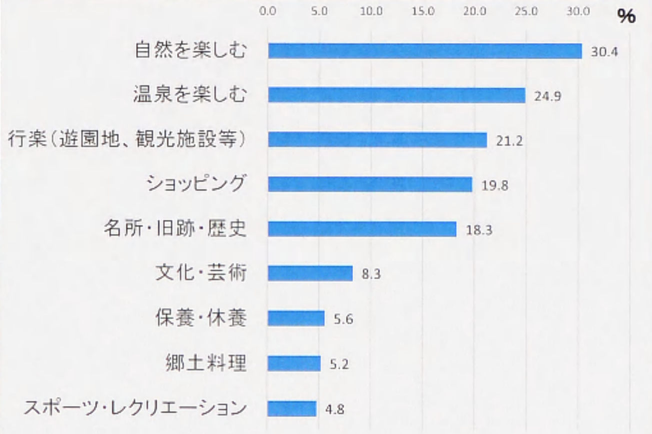
（人）

・平成26年の山梨県における観光入込客数は、実人数で3,002万人と推計され、前年（2,968万人）から1.1%の増加となっている。平成26年の観光入込客数を圏域別にまとめると、図のとおり。圏域別では、富士・東部圏域が1,387万人（前年比104.1%）と最も多く、構成比では県内全体の46.2%を占めている。

県外観光客の居住地

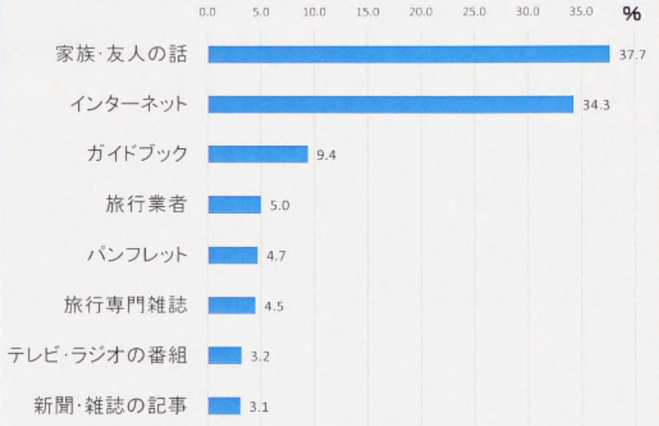
・県外客の居住地は、東京都（26.2%）、神奈川県（16.1%）、静岡県（12.7%）、埼玉県（9.0%）、長野県（8.7%）と、隣接する都県からの来訪者が多い。

県外観光客の旅行目的



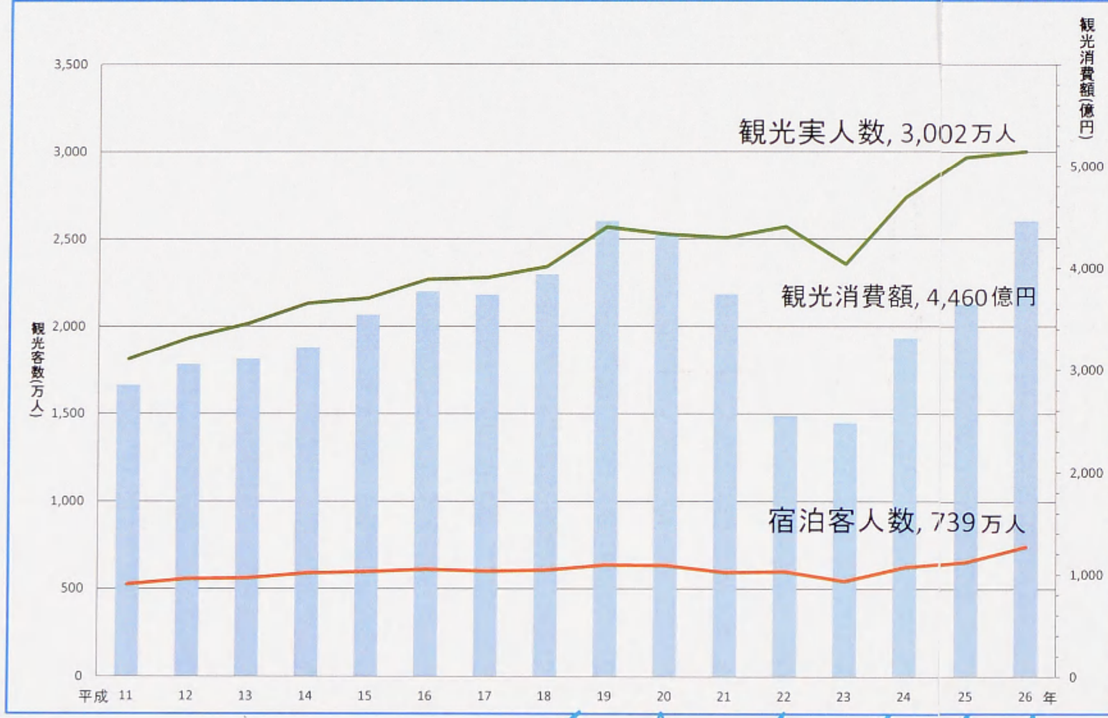
・観光客の旅行目的は、「自然を楽しむ」が30.4%と最も高く、次いで「温泉を楽しむ」（24.9%）、「行楽（遊園地、観光施設等）」（21.2%）となっている。

旅行計画の参考資料



・観光客が旅行計画を立てる際に参考にするものとしては、「家族・友人の話」が37.7%で最も高い。次いで「インターネット」（34.3%）、「ガイドブック」（9.4%）と続いている。

年別推移　（観光客数・観光消費額）



NHK大河ドラマ「風林火山」放映

山梨ディスティネーションキャンペーン「週末は山梨にいます」

東日本大震災による観光の自粛

笹子トンネル天井板落下事故

富士山の世界文化遺産登録

NHK連続テレビ小説「花子とアン」放映 南アルプスのユネスコエコパーク登録

・山梨県の観光客数及び観光消費額ともに平成11年から20年までは順調に観光客数が増加している。特に19年には、大きく増加している。22年の震災以降低調にあったが、近年大きく数字を戻している。

平成21年までは、全国観光統計基準（日本観光協会）に基づく独自指標を用いた集計。22年からは、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」の指標を用いた集計。統一基準で作表できなかったため、21年以前は一定の係数を乗じた数値による。

・平成26年の山梨県の観光は、年間実績客数で3,002万人、観光消費額で4460億円と推計され、山梨県における観光は一大産業となっている。圏域別は、特に富士・東部圏域が観光客数で1,387万人と最も多く、県内全体の46.2%を占めている。
・年ごとの推移は、客数及び観光消費額ともに一時低調であったもののアジア圏の経済発展による海外からの観光客の増加や県や市町村行政などによる観光振興が功を奏した格好で、近年大きく数字を回復している。
・山梨県は様々な観光資源を有しており、今後も一層の観光産業の飛躍が期待される。首都圏から近いという優位点も活用する中で、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催やリニア鉄道の開通など予測できる将来に対して、ソフト面ハード面とも万全の準備が重要。まさに全県をあげて、「おもてなし」の心が求められる。

出典　：　山梨県「山梨県観光入込客統計調査報告書」平成26年
山梨県「山梨県観光入込客統計調査概要」平成22年～26年
山梨県「山梨県観光客動態調査結果概要」平成18年～21年